

東建パブリリニュース

平成30年9月7日

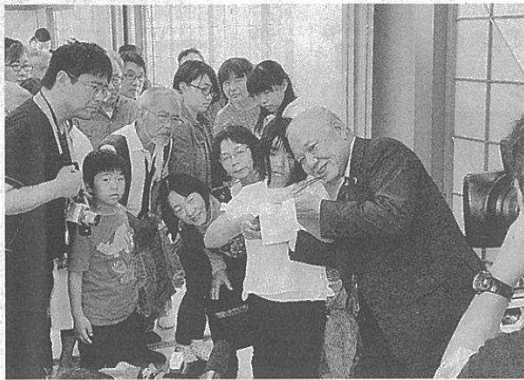
経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成30年7月9日 神社新報 P. 4

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。



多度大社

刀剣鍛錬の奉納 事前に勉強会も

【三重】桑名市の多度「鍛錬」と勉強会があり、大社（塚原徳生宮司）で刀剣愛好家や親子連れなど五月十九日、「刀剣奉納」が参加した。

村上市は日本刀の種類や、武器から信仰対象・美術品へと扱ひが変はっていく時代の変遷など、

この催事は、愛知・東建コーポレーション株式会社からの奉納の申し出によりおこなはれたもの。住宅販売などを手掛ける同社は、再来年に愛知県内に刀剣博物館「名古屋刀剣ワールド」の建設を予定してゐる。

まつ午後二時から勉強会がおこなはれ、約六十人が参加。刀剣の知識を深めてもらはうと、東京の日本刀販売店・霜剣堂の村上一夫氏が「なるほど日本刀 簡単・まるわかり講座」と題して講義した。

日本刀のさまざまな事柄について映像を交へつつ解説。終了後には村上氏らの指導の下で、参加者が日本刀に触れる機会も設けられ、実物を前にして熱心に質問する様子がみられた。

奉納鍛錬は午後三時から境内でおこなはれた。来賓の伊藤徳宇市長と岐阜県関市の尾関健治市長が祝辞を述べたのち、同市の無鑑査刀匠・尾川兼國氏ら四人の刀匠が刀剣鍛錬・焼入れを奉納。約三百人が陪観し、めったに見られない日本刀造りの工程に興味深く見入つてゐた。

今回鍛へられた刀剣は完成後、来年四月に同大社へ奉納されることとなつてゐる。

桑名市では地元を拠点として活躍した刀工「村正」が有名で、市博物館では平成二十八年に特別企画展「村正―伊勢桑名の刀工―」を開催するなど日本刀の造詣が深い。また関市は鎌倉時代から続く刃物の町で、日本の名刀の産地でもあり、桑名との技術者の交流もみられた。

(原忠照通信員)

以上